

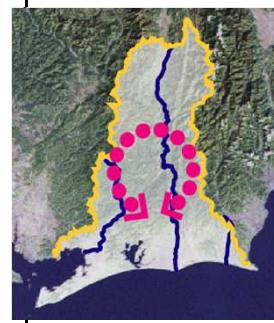
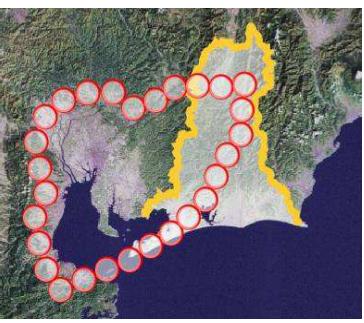
資料2 三遠南信地域産学官人財育成円卓会議 の開催趣旨

1. 三遠南信地域連携ビジョン
2. 円卓会議の開催趣旨

1. 三遠南信地域連携ビジョン

【 三遠南信地域連携ビジョン 】

■ 目指すべき地域像



①日本の中の中央回廊の形成

太平洋側と日本海側の両地域を東西日本を中心で結ぶ

②大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成

伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築

③流域循環圏の形成

上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「流域循環圏」を構築

■ 五つの目的

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

■ 目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、**概ね10年間**とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定める。

■ 五つの基本方針



中部圏の中核となる地域基盤の形成

持続発展的な産業集積の形成

塩の道エコミュージアムの形成

中山間地域を活かす流域モデルの形成

広域連携による安全・安心な地域の形成

2. 円卓会議の開催趣旨

- ・人口減少が想定される社会構造の中で、地域の持続性を確保するには、新たな価値創造の担い手となる人財の育成が最大の課題であり、産学官によって極めて戦略的に行わなければならない。
- ・こうしたことから、文部科学省においても産学協働体制による人財の育成や高等教育のあり方を探ることを目的とした「産学協働人財育成円卓会議(平成23年7月27日)」が開催されている。
- ・県境を越えた地域形成を進める三遠南信地域では、三遠南信地域連携ビジョンに沿って、地域内に立地する16大学学長による『三遠南信大学フォーラム』の設置が準備段階にあり、次代の地域を担う人財の育成について検討協議されているほか、平成23年10月24日には「三遠南信地域大学シンポジウム」が開催されている。
- ・こうした背景から前述のシンポジウムの発展形として、全16大学をコアメンバーとして、行政、産業界を加えた産学官による「三遠南信地域産学官人財育成円卓会議」を開催する。

